

Casa della pace

やすらぎの家



がんに影響を受けるすべての方のための場所

コンセプト ここ倉吉市巖城の地に、医療や介護のプロフェッショナルが常駐し、病院とも家とも離れた場所にある『やすらぎの家』でがん向き合い、癒しと心の平安を得る場を提供することをコンセプトとする。

日本の現状

- 生涯でがん罹患する日本人は2人に1人という高い割合になっている。併せて、患者本人を支える家族や友人知人など、影響を受ける人数は数倍に膨れあがる。各病院に相談機関は存在しているが院内のため患者の大きな気分転換を望むのはなかなか難しい。
- 家族や友人知人は『第二の患者』とよばれ、患者の介護に集中するあまり弱音を吐けなかったり看病だけでなく諸処の問題に直面しなければならないなど、患者と同じかそれ以上にストレスにさらされていると思われる。

鳥取県の現状

- 院内の相談サロンはもとより、医療関係者や有志の方でがんサロンやがんカフェが開催されているが、東部や西部で不定期開催であり、中部地区では開催が無いなどの拠りどころとなる場所の不足が懸念される。

やすらぎの家へようこそ

がんを患っていても人として自分らしく生きていくために。第二の患者が介護やサポートから一時離れ心の平安を取り戻せるように。来訪者が必要とするサポートを随時行っていく。

- サポートプログラムの一例

- ☞ Casa定期交流会
 - ・治療中の方向け：毎月第1木曜、第3土曜
 - ・がんに影響を受ける全ての方向け：毎月第2火曜、第4日曜
 - 出入り自由・聞くだけ話すだけOK・もちろんどちらもOK
- ☞ 栄養士による『食欲がないときのおいしい時間』
 - ～少しの量で栄養とカロリーを摂れる時短料理～

time	10	11	12	13	14	15	16	17	18	schedule
Room1					free					
Room2			サポートプログラム				サポートプログラム			
Room3			Y様					free		
other					free					



地域特性

- 鳥取県の中部に位置する倉吉市は東部と西部のちょうど中間地点となり東部・西部から車で約1時間の県内全域から来訪しやすい位置関係である。
- 倉吉市にある鳥取県立厚生病院は、東部にある県立中央病院とともに地域のがん医療の核となる『地域がん診療連携拠点』であり、地域に密着した専門病院であるため治療で来院する患者が多い。そのため、がんに影響を受け心のケアを必要とする方も多いと思われる。

展望

- NPO法人としてセンター長と職員を配置し、医療や介護従事者、保健師や介護士、カウンセラーなど（すべてOBを含む）ボランティアをつくり協力を仰ぐ。
- 中部地区には鳥取看護大学と倉吉総合看護専門学校があり、生徒のカウンセリング実習の場となることが期待されるとともに上記のボランティアとコミュニケーションを取りながら、カウンセリングを含む医療や介護に関する技能と知識を深めることも期待される。

